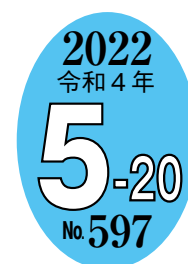




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



長野市 高妻山
第24回長野マラソン

戸隠連峰の最高峰(2,353m)を誇る高妻山。「日本百名山」にも選ばれる名峰ですが、長野市街地では数カ所からしか見えない秘峰感あふれる山です。3年ぶりに開催された長野マラソンの34km地点。コース終盤になって現れた、「戸隠富士」とも呼ばれるピラミッド形の霊峰に元気づけられたランナーは、ゴールの長野オリンピックスタジアムを目指します。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート コロナ禍における企業経営 ② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 明治時代の風景 (2) 仲見世周辺 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



 長野信用金庫

生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は13カ月連続の上昇

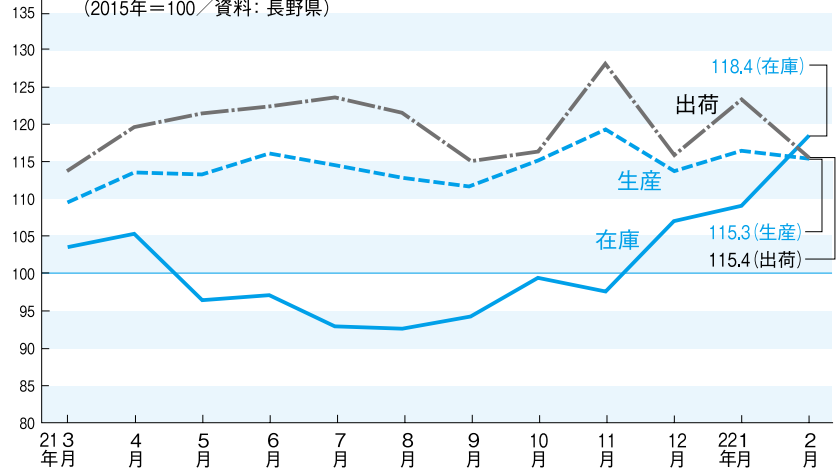
◇2022年2月の長野県鉱工業指数 (速報：季節調整済指数)

生産は115.3(前月比▲0.8%)で
2カ月ぶりの低下、出荷は115.4
(同▲6.3%)で2カ月ぶりの低下、
在庫は118.4(同+8.6%)で3カ
月連続の上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は112.6(前年同月比+7.2
)で13カ月連続の上昇、出荷は
113.9(同+2.9%)で17カ月連続の
上昇、在庫は120.1(同+21.3%)
で5カ月連続の上昇となりまし
た。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、その他、プラスチック製品など8業種
低下…電子部品・デバイス、食料品、情報通信機械など9業種
- [出荷] 上昇…輸送機械、窯業・土石製品の2業種
低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、化学など15業種
- [在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、情報通信機械など14業種
低下…鉱業、鉄鋼の2業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2022年2月

◇4月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(37%)が1ポイント減少、「減少」割合(26%)が6ポイント減少、「不変」割合(37%)は7ポイント増加、全体としては増加の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
🔄 改善 ⇄ 不変 📉 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	今回			回収率	回収率		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	割合	割合	30人未満	30人以上	割合
前 回	38.1	29.7	32.2	→	→	→			202社(回収率87.8%)	73.8%	26.2%
今 回	37.2	36.6	26.2	↗	↗	↘			192社(回収率84.2%)	73.4%	26.6%
製造業	47.0	19.7	33.3	↘	→	↗			66社(回収率81.5%)	62.1%	37.9%
建設業	32.2	50.9	16.9	→	↗	↘			59社(回収率83.1%)	88.1%	11.9%
卸小売業	29.3	41.4	29.3	↗	→	↘			41社(回収率85.4%)	85.4%	14.6%
サービス業	28.6	42.8	28.6	↘	↗	↗			7社(回収率87.5%)	85.7%	14.3%
輸送業	40.0	30.0	30.0	↘	↗	↗			10社(回収率100.0%)	30.0%	70.0%
外食業	37.5	50.0	12.5	↘	↗	↘			9社(回収率90.0%)	44.4%	55.6%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(47%)が5ポイント減少、「減少」割合(33%)が5ポイント増加、「不変」割合(20%)が1ポイント増加で、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	52.2	19.4	28.4
	今回	増加 47.0	不変 19.7	減少 33.3
食料品		53.3	6.7	40.0
金属加工		45.5	18.1	36.4
一般機械		50.0	20.0	30.0
電気機械		0.0	50.0	50.0
自動車部品		25.0	25.0	50.0
精密機械		66.7	16.6	16.7

【業種別】 増加…食料品

横ばい…金属加工・精密機械

減少…一般機械・電気機械・自動車部品

【機械稼働】 (前回比)稼働率 上昇

上昇割合 (11%) → 29%

下降割合 (24%) → 9%

【受注状況】 受注量 (前回比) 上昇

増加割合 (15%) → 27%

減少割合 (25%) → 13%

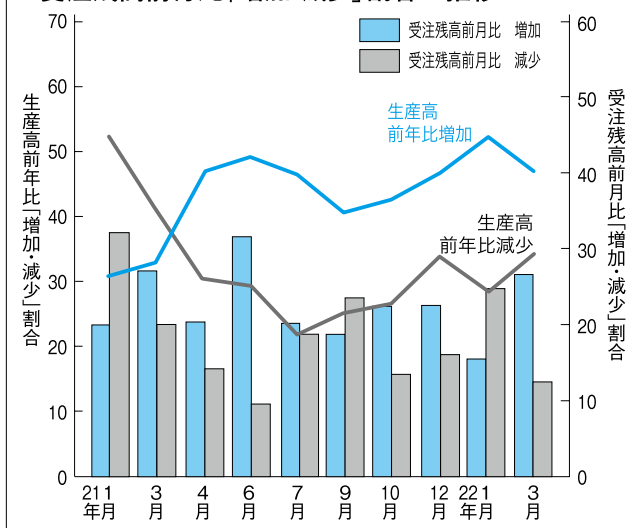
受注残高 (1.5ヵ月) → 1.7ヵ月

【受注基調】 (前回比) 上昇

上昇割合 (14%) → 25%

下降割合 (27%) → 11%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

★4月から原材料価格の値上げが相次いでいるため、業界の動きを見極めながら商品価格の改訂を進めている。(農産物加工)

☆★ようやく受注は回復したが、材料の価格上昇と部品調達の遅れで、収益性が悪化している。

(工作機械)

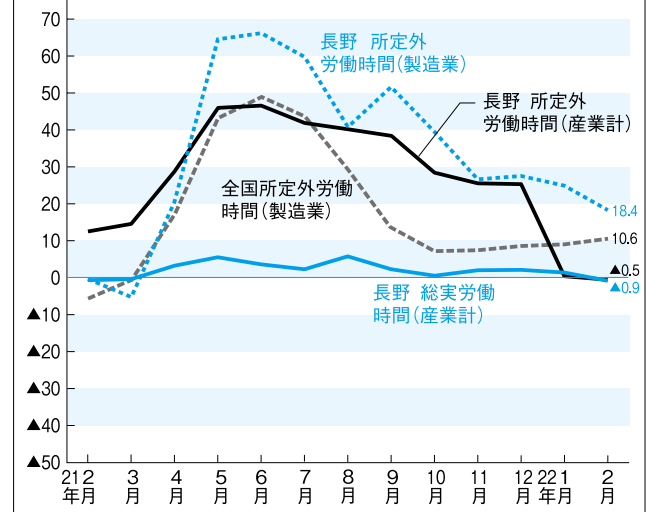
★大豆・塩・包装資材の値上げ、さらに電気代・運賃等も上昇して利益を圧迫している状況だが、製品価格に転嫁できず、苦慮している。(味噌)

☆「善光寺御開帳」が始まり、陽気も良くなって受注が増加している。(そば製造)

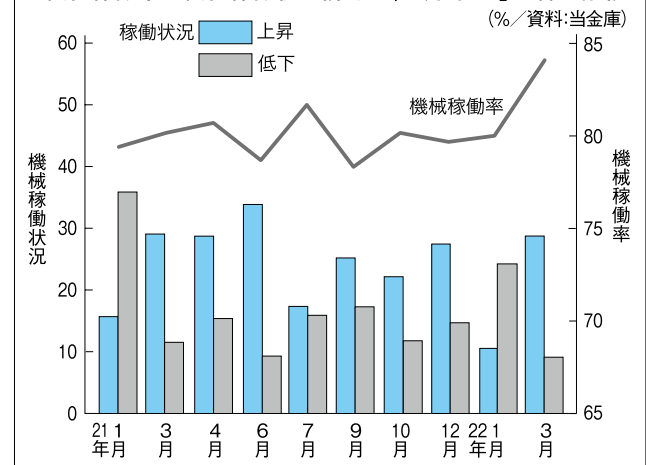
★「ウクライナ情勢」が大きく影響して、小麦粉の価格上昇が現実となった。今後の動向を注視している。(乾そば)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・土木工事が減少するも、全体は増加

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前年に比べ「増加」割合(32%)が横ばい、「減少」割合(17%)が15%減少、「不変」割合(51%)が16%増加、全体としては増加の状況です。

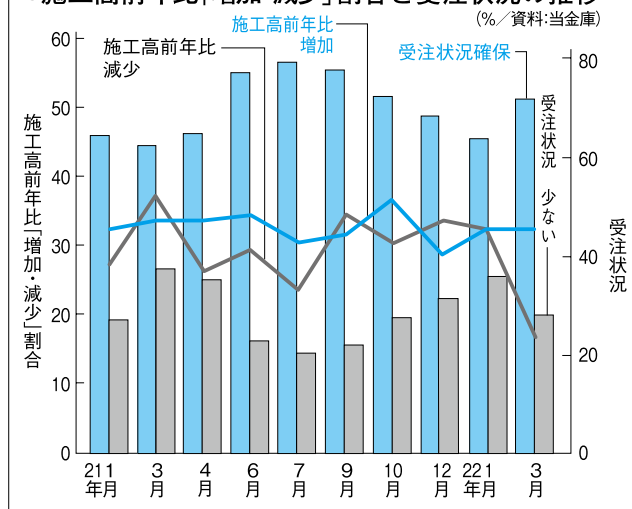
●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	32.3	35.4	32.3
	今回	増加 32.2	不変 50.9	減少 16.9
総合建設業	18.2	63.6		18.2
土木工事業	53.8		30.8	15.4
建築業	15.8	73.7		10.5
各種設備業	50.0		37.5	12.5

【業種別】 増加…建築・各種設備
減少…総合建設・土木工事

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善
「多い・適正」割合 (64%) → 72%
「少ない」割合 (36%) → 28%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

☆★大型案件の引合いは多数あるが、単価的には厳しいものが多い。来秋からの「インボイス(適格請求書)制度」の導入による下請け先への対応についても、難しい舵取りが迫られる。(内装仕上工事)
★急激な資材等の値上がりにより、収益が出る物件かどうかの判断が難しく、慎重に受注を行なっている。(総合建設)

4～3月の公共工事 (東日本建設業保証取分)

長野県の4～3月の発注合計は、2,299.7億円(前年同期比▲12.3%)となりました。前年比プラスは「国」の524.0億円(同+7.2%)、マイナスは「県」の699.8億円(同▲20.8%)、「市町村」の612.4億円(同▲17.8%)、「その他」の458.1億円(同▲7.2%)でした。

北信地区市町村の発注合計は150.1億円(同▲29.6%)で、うち長野市は68.8億円(同▲39.5%)でした。

●建設業保証取分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年3月/2021年4月～2022年3月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証(株))

		2022年3月	前年同月比	2021年4月～2022年3月	前年同期比
長野県	国	4,350	▲20.1%	52,391	+7.2%
	県	5,129	▲24.2%	69,977	▲20.8%
	市町村	3,168	+19.3%	61,242	▲17.8%
	その他	1,668	+71.3%	45,807	▲7.2%
	合計	14,314	▲9.6%	229,969	▲12.3%
北信地区	市町村	766	▲14.0%	15,013	▲29.6%
	(内長野市)	414	+11.2%	6,878	▲39.5%

4～3月の新設住宅着工戸数

長野県の4～3月の新設住宅着工戸数は11,809戸(前年同月比▲2.8%)でした。持家が7,212戸(同+8.1%)、貸家が2,810戸(同▲14.3%)、分譲が1,718戸(同▲11.3%)、給与が69戸(同▲73.8%)です。

北信地区の4～3月の新設住宅着工戸数は3,370戸(同+0.9%)でした。持家が2,024戸(同+11.7%)、貸家が796戸(同▲13.4%)、分譲が529戸(同▲11.2%)、給与が21戸(同+75%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2022年3月/2021年4月～2022年3月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	3月	109戸	24戸	44戸	0戸	177戸
	(内長野市)	72戸	24戸	31戸	0戸	127戸
	前年同月比	▲15.1%	▲66.3%	▲44.6%	——	▲37.6%
	(内長野市)	▲25.0%	▲73.0%	▲54.4%	——	▲49.8%
	4～3月	2,024戸	796戸	529戸	21戸	3,370戸
長野県	前年同期比	+11.7%	▲13.4%	▲11.2%	+75%	+0.9%
	3月	380戸	121戸	116戸	1戸	618戸
	前年同月比	▲32.4%	▲41.8%	▲39.6%	——	▲35.8%
	4～3月	7,212戸	2,810戸	1,718戸	69戸	11,809戸
	前年同期比	+8.1%	▲14.3%	▲11.3%	▲73.8%	▲2.8%

卸小売業

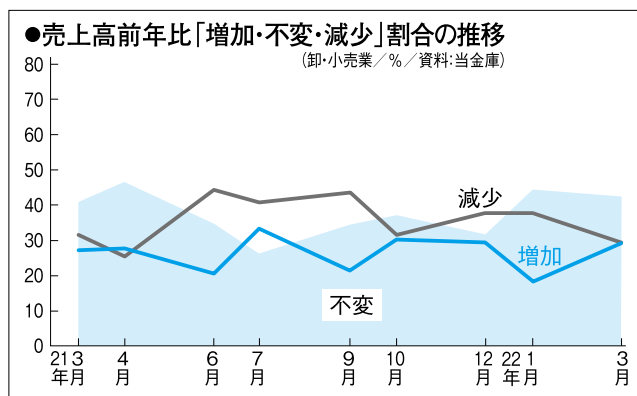
卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(29%)が11ポイント増加し、「減少」割合(29%)が10ポイント減少、「不変」割合(41%)が2ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	18.2	43.2	38.6
	今回	増加 29.3	不変 41.4	減少 29.3
卸 売 業		25.0	56.2	18.8
小 売 業		32.0	32.0	36.0



【業 種 別】 増加…卸売業・小売業

3月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……101.7(7カ月連続プラス)

(前月比+0.4%、前年同月比+1.9%)

上昇…「光熱・水道」「被服及び履物」「家具・家事用品」
「交通・通信」「諸雑費」「教育」

下落…「食料」

◇生鮮食品を除く総合指数…101.6(8カ月連続プラス)

(前月比+0.5%、前年同月比+1.6%)

企業からのコメント

☆新型コロナの「まん延防止等重点措置」が解除され、イベント等にお客様が来場していただけるようになってきた。(家電販売)

☆冬にキャンセルとなった団体客から、春・夏の予約が入り回復の兆しが見えてきた。(ホテル食品卸)

★原油の高騰で資材等が値上がりして、利益が出にくい状況。(花鉢・庭木)

★コロナウイルスの発生から3年目になるが、いまだに先が見えず、どうすればよいか検討もつかない。(和洋菓子)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」外食以外は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は9ポイント減少の29%、「減少」割合は4ポイント増加の29%、「不変」割合は5ポイント増加の43%と、売上は減少の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は20ポイント減少の40%、「減少」割合は10ポイント増加の30%、「不変」割合は10ポイント増加の30%と、売上は減少の状況。タクシーは横ばい、運輸が減少です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は12ポイント減少の38%、「減少」割合は37ポイント減少の13%、「不変」割合は50ポイント増加の50%と、売上は増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比71ポイントの増加、前年同月比は12ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が5ポイント増加の27%、「引合いや増加」が35ポイント増加の46%でした。

企業からのコメント

★燃料高騰が経営を圧迫。大手は「燃料サーチャージ」により、燃料コスト増分の一部を荷主に転嫁する動きが出ているが、あくまで部分的な話であり、業界全体として運賃アップが必要。(トラック輸送)

☆「善光寺御開帳」が始まり気温も上昇して、県外ナンバーの車が増加、人の動きが増えた印象がある。来店客も増え、売上増加。(そば店)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	37.5	37.5	25.0
	今回	増加 28.6	不変 42.8	減少 28.6
輸送業	前回	60.0	20.0	20.0
	今回	40.0	30.0	30.0
うちタクシー業		100.0	0.0	0.0
うち運送業		14.3	42.8	42.9
外食業	前回	50.0	0.0	50.0
	今回	37.5	50.0	12.5

今後の事業展開

「本業での取引深耕」60% 「本業での新商品・サービスの展開」37% 「新規事業へ参入」11%
「M&Aの活用」5% 「副業(別事業)の拡大」4% 「本業の縮小」3% 「業種転換」0.4%

「モノ不足」による企業活動の影響

「多大な影響がある」24% 「やや影響がある」46% 「影響はない」20% 「分からない」8%

今後の事業展開 トップ3は「本業での取引深耕」60%、「本業での新商品・サービスの展開」37%、「新規事業への参入(多角化)」11%で、以下「M&Aの活用」5%、「副業(既存の別事業)の拡大」4%、「本業の縮小」3%、「業種転換」0.4%となりました。

「モノ不足」による企業活動の影響 「影響がある」と答えた企業は70%に達し、「影響はない」は20%、「分からない」は8%でした。影響の程度は、「多大な影響がある」が24%、「やや影響がある」が46%です。

で、次いで「本業での新商品・サービスの展開」(37%)、「新規事業への参入(多角化)」(11%)となりました。以下「M&Aの活用」(5%)、「副業(既存の別事業)の拡大」(4%)、「本業の縮小」(3%)、「業種転換」(0.4%)と続き、「特になし」は9%でした。

従業員規模で見ると、30人未満は「特になし」(12%)が8割、30人以上より高くなっています。30人以上は「本業での新商品・サービスの展開」(55%)が25割、「新規事業への参入(多角化)」(17%)が8割、「M&Aの活用」(10%)が8割、「本業での取引深耕」5割、30人未満より高くなっています。

今後の事業展開

「本業での取引深耕」60%
「本業での新商品・サービスの展開」37%
「新規事業への参入(多角化)」11%

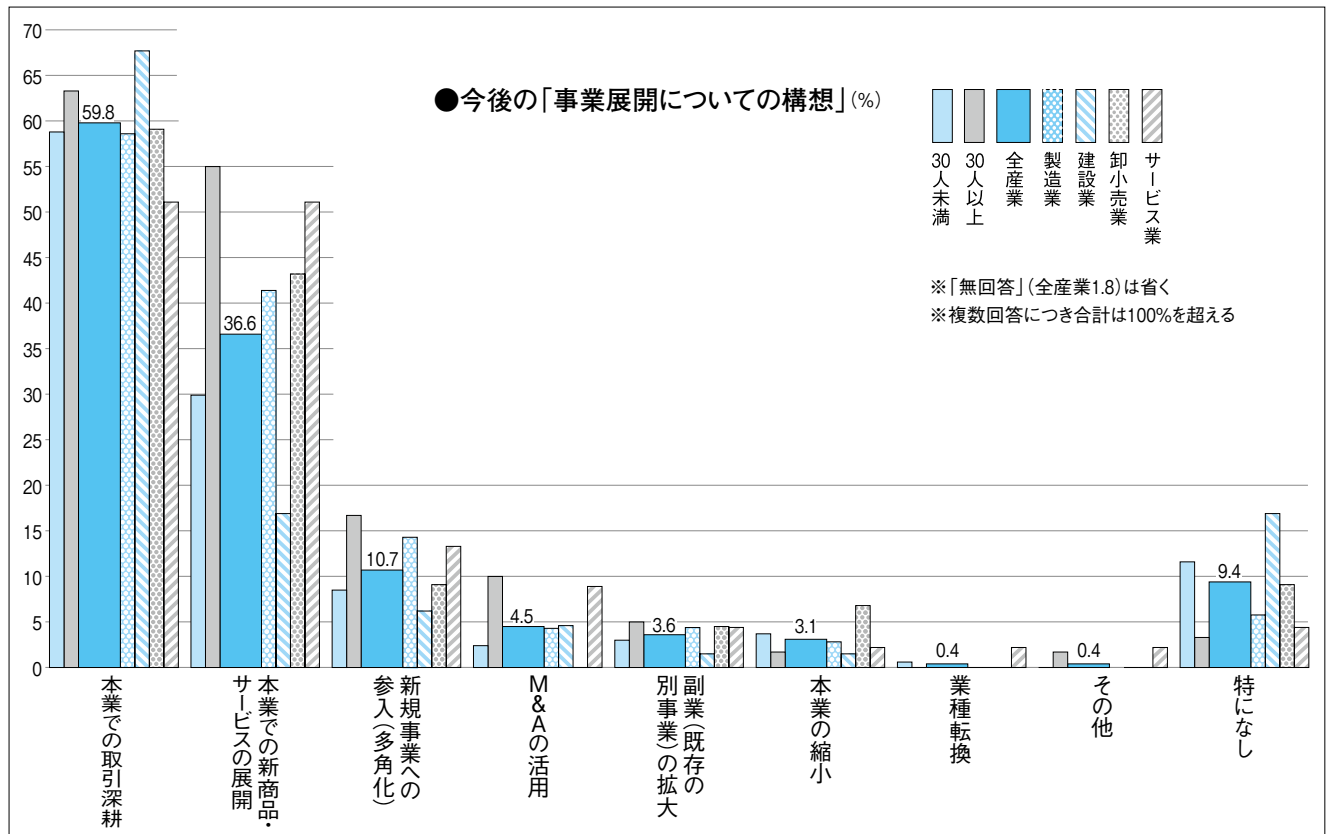
「今後の事業展開についての構想」を聞きました。
最も高くなったのは「本業での取引深耕」(60%)

業種別

4項目で“最も低い”建設業

◇4業種の状況

製造業 「新規事業への参入(多角化)」(14%)と



「本業の縮小」(3%)は他業種に比べ最も高く、「業種転換」「その他」は、建設業・卸小売業ともに低くなっています。

建設業 「本業での取引深耕」(68%)と「特になし」(17%)は他業種に比べ最も高く、他方「本業での新商品・サービスの展開」、「新規事業への参入(多角化)」、「副業(既存の別事業)の拡大」、「本業の縮小」は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「本業の縮小」(7%)、「副業(既存の

別事業)の拡大」(5%)は他業種に比べ最も高く、他方「M&Aの活用」は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「本業での新商品・サービスの展開」(51%)、「M&Aの活用」(9%)、「業種転換」(2%)は他業種に比べ最も高く、他方「本業での取引深耕」と「特になし」は他業種に比べ最も低くなっています。

「モノ不足」による企業活動の影響

多大な影響がある 24%
 やや影響がある 46% } 計70%
 影響はない 20%
 分からない 8%

◇全業種の状況

「影響がある」と答えた企業は実に70%にのぼり、「影響はない」と答えた企業は20%に過ぎず、「分からない」は8%でした。

従業員規模で見ると、30人未満の「影響がある」は67%、「影響はない」は24%、「分からない」は7%です。30人以上は同様に77%、10%、12%です。

◇4業種の状況

製造業 「影響がある」は79% (多大な影響19%・

やや影響60%)と4業種で最も高く、「影響はない」は17%、「分からない」は4%でした。

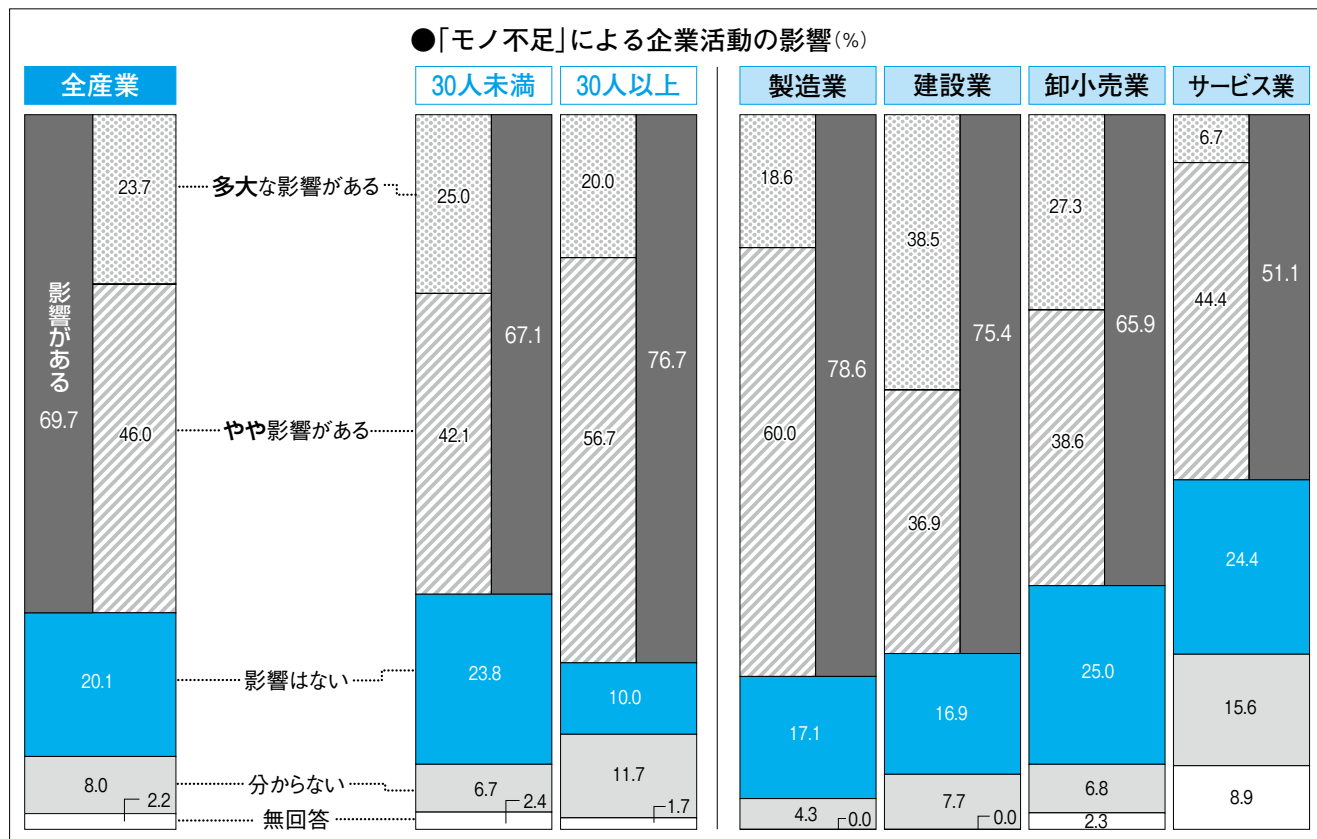
建設業 「影響がある」は75% (多大39%・やや37%)で、「影響はない」は17%、「分からない」は8%でした。

卸小売業 「影響がある」は66% (多大27%・やや39%)で、「影響はない」は25%、「分からない」は7%でした。

サービス業 「影響がある」は51% (多大7%・やや44%)と4業種で最も低く、「影響はない」は24%、「分からない」は16%でした。

◇次号は「影響の具体的な内容」と

「従業員の過不足状況」を予定



生まれ育った土地に
“恩返し”をしたい

WOOD FACTOR

代表 大川 直男^{なおお}さま

●創業の経緯についてお聞きします…

私は高校卒業後、長野市木工団地にある家具や店舗什器を扱うメーカーに入社しました。この会社はグループ企業4社を持つ大きな会社でした。

学生時代からバイクをいじったりするのが好きで、手先は器用な方でしたが、木工製作は初めてだったので、入社してすぐは随分苦労しました。しかし人一倍“負けず嫌い”だったので、先輩職人から教わるとともに、自身でも懸命に学び、数年後には、木工技術において職場内でも一目置かれる存在になっていました。

この会社に入社した当時は、1998年の長野冬季オリンピック開催を控えて、木工関連の需要も多く好景気でしたので、毎日遅くまで残業の毎日でした。しかし、オリンピックが終わると、大手インテリア家具メーカーが長野市内に進出したりして、会社の業績が悪化。入社10年目に、工場部門の職人12名全員がリストラされることになってしまいました。

当時、私は結婚をして、子供も幼かったため、これから家族をどう養おうか途方にくれたことを思い出します。しかし、リストラといっても、会社からは「工場は閉鎖したが、倒産したわけではないので、場所や機材を貸します」と言われ、各自が個人事業主となって会社から仕事をいただけるということになりました。こうした^{いきさつ}経緯を経て2005年(平成17)に「WOOD FACTOR(木の要素)」という個人経営の会社を立ち上げて新たなスタートを切ることになったわけです。ただし、いつまでも工場を間借りしているわけにもいかないので、独立する夢をかなえるため人の2倍、3倍も働きました。

独立の資金もできたので、2007年(平成19)に

生まれ育った飯綱町赤塩に念願だった自分の工場を持ちました。独立してからも、前に勤務していた会社からは、仕事をあっせんしてもらったり、当時の仲間からも色々と気にかけてもらいました。本当に様々な人たちの応援のおかげで現在があり、感謝の気持ちでいっぱいです。

●業務の概要についてお聞きします…

独立当初の10年間は、デパート等からの「店舗什器」の注文製作が中心でした。しかし、景気の影響を受けやすい部門でしたので、個人客からの受注も確保したいとの思いから、2017年(平成29)にShop & Show Room「WOOD LION」をオープンしました。ここでは一枚板の製品に特化した“オーダー家具”の製作をメインにしました。こうして店舗什器の製作から、オーダー家具の受注も可能な態勢を構築していきました。

私は製品販売のための営業回りはしません。自分の工場を始めたころからブログを書き、その後SNSで、毎日、製品に関する情報発信を心掛けてきました。すると徐々に、店舗を開業する方や個人のお客様が、この場所まで来店くださるようになりました。結果として仕事の比率は什器製作と個人向け家具が半々になってきました。

●製品づくりの“こだわり”について…

通信販売はお断りして「対面販売」のみです。理由は、私がどんな思いで作っているのか分かってもらいたいのと、直接お会いして依頼者の想いを聞きたいからです。

趣味性の高いものを作っていると、製作したものを“作品”と言われますが、私はアーティストではなく「職人」ですから「製品」なのです。持論ですが、作品には作る人の責任がないと思っていて、お客様が気に入って購入されたのだから、壊れても知りませんになってしまいます。依頼されたものに“責任”を合わせて販売するのが「製品」だと思っています。ですから、売りっぱなしではなく、修理や改修もします。少しでも長く使っていただければとの思いからです。

●コロナ禍の影響と対応に関して…

デパートの経営が厳しいなどで、去年は、店

舗什器の仕事がほぼなくなりました。5年前にショップをオープンさせ、個人需要の仕事を増やしてきました。コロナ禍の最近2年間は個人の新築住宅の着工が増えているので、その需要にも助けられています。

また、オリジナル商品の開発にも力を入れています。その一つに「ウッドリバーテーブル」があります。木の素材を活かしながら、レジン樹脂を使用した家具です。また、“音道”の構造だけで、スマホの音を増幅させられる「木製スピーカー」も好評です。

SNSの効果で、県外からの来店客も増えています。多くの人に、ご来店いただきたいのですが、コロナ禍ですから“予約形式”にしています。

●今後の展望や夢などについて…

起業してからは、誰かにルールを決められてやっているのではなく、工場やショップも、自分のやりたいことを自由気ままに表現出来る場所として考えています。お客様にここへ来て楽しかったと、もっと言ってもらえるようにしてい

きたいですね。また、地元の飯綱町にも、地域の活性化といった形で恩返しが出来ればとも思っています。それがこの地に工場をオープンさせた理由の一つでもあるわけですから…。そしてさらに人材といいますか、若い木工職人を育てていきたいとも考えています。



ウッドリバーテーブル



「WOOD FACTOR」の内部



スマートフォン用木製スピーカー



SHOP & SHOW ROOM「Wood Lion」の内部

●事業の概要

設立 2005(平成17)年
 代表者 大川 直男
 従業員 3名(男2名・女1名)
 業務 木工家具、什器の製造・販売
 所在地 上水内郡飯綱町大字赤塩344
 URL <https://woodfactor700.net/>

●沿革

2005(平成17)年 長野市内に「WOOD FACTOR」を立ち上げる
 2007(平成19)年 飯綱町に自社工場を構える
 2017(平成29)年 Shop & Show Room「WOOD LION」

北信濃 明治時代の風景

(2) 仲見世周辺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治15年(1882)ころできた長野町誌の、善光寺境内を描いた「善光寺境内之図」の一部です。

仁王門

左に「二王門」があります。仁王門のことですが、「二王門」という表記もあったのです。ここに描かれている明治時代の仁王門は、現在の仁王門と違って正面の唐破風(曲線の屋根)がありません。また門の下には、大きな提灯が下がっています。これは山門も同様です。

善光寺の最初の仁王門は、本堂が再建された45年後の宝暦2年(1752)に建立されました。山門が建立された2年後のことです。しかしこの仁王門は弘化4年(1847)の善光寺地震で焼失してしまい、元治元年(1864)に再建されたのがここに描かれた

仁王門なのです。

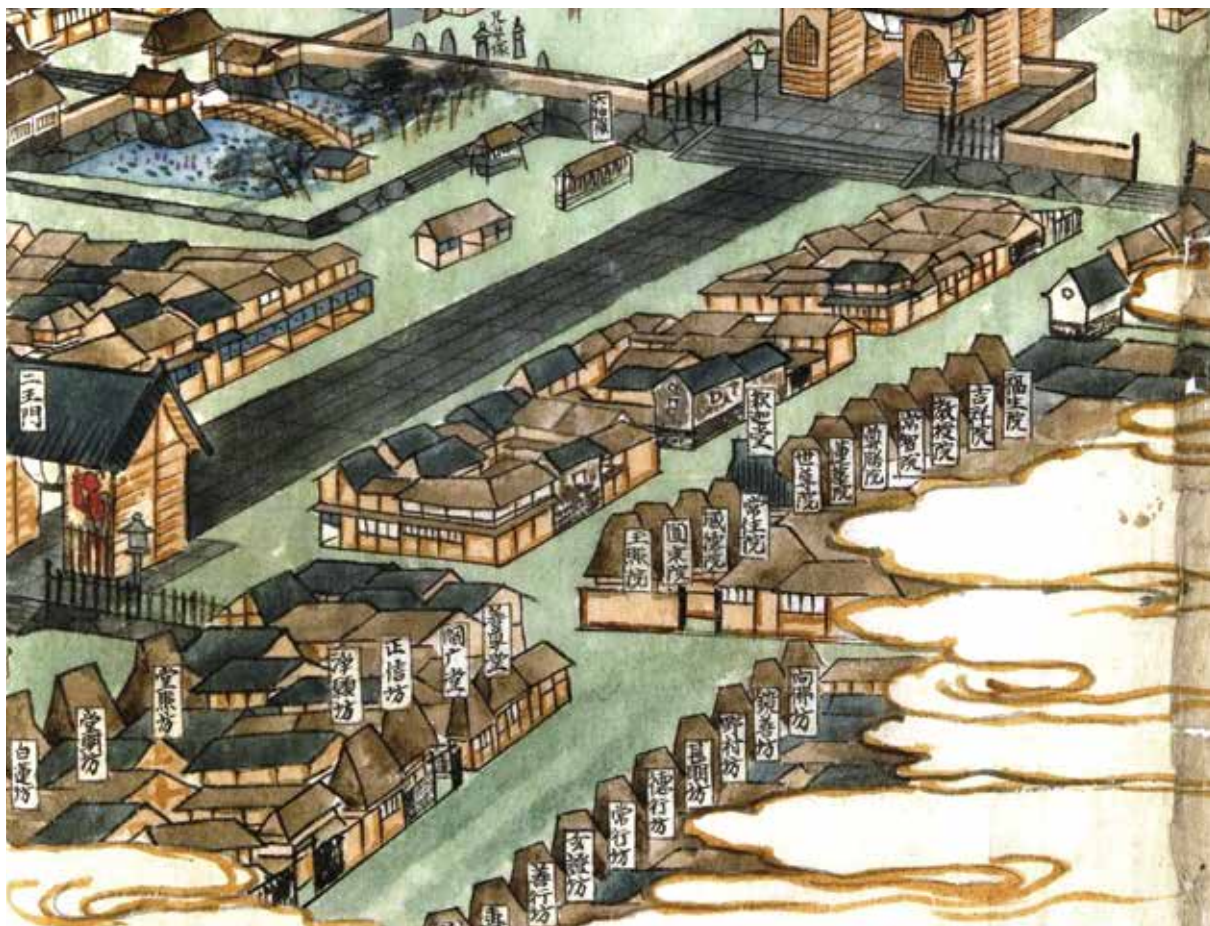
しかしこの仁王門も明治24年(1891)の大火で焼失し、大正7年(1918)にようやく再建されたのが現在の仁王門です。

仲見世

仁王門に続いて仲見世があります。ここは、現在地に本堂が再建される以前に善光寺の本堂があった場所で、堂庭と呼ばれていましたが、明治7年(1874)に元善町と改称しました。

明治時代のこの絵には現在と変わらない仲見世が描かれていますが、江戸時代の仲見世とは大きく違います。その1つは、建物が2階建てであることです。江戸時代は仮設の店舗しか許可されていなかったのに、仲見世の建物はすべて平屋でした。

もう1つは、江戸時代の仲見世は仮設店舗だっ



長野町誌(長野県立歴史館蔵より)

たので、背後が広く空いていて、そこに見世物小屋などが立ち並んでいたことです。したがって現在は「釈迦堂通り」と呼ばれている仲見世の東側に並行する通りも、江戸時代にはきちんとした道路ではなかったのです。

六地藏

山門の手前、左側（西側）に、覆い屋の中に「六地藏」が描かれています。江戸時代の六地藏は現在と同じように東側にあったのですが、明治時代になるとこのように西側に移されました。前号に書きましたが、大仏（濡れ仏）は山門の北東に移動し

ました。大仏と六地藏が現在地に配置されたのは、明治27年（1894）のことです。

ここに描かれた六地藏は、宝暦9年（1759）に造立されたものですが、残念ながら戦争によって昭和17年（1942）に供出されてしまいました。現在の六地藏は、昭和29年（1954）に再興されたものです。

敷石

仁王門と山門の間には、整然とした敷石が描かれています。仁王門南側の敷石は、石の長さが不ぞろいなので、東西の線がそろっていませんが、北側はすべて同じ大きさの石を用いているので、このように整然としているのです。石材は、郷路山（新諏訪）の安山岩です。俗に7777枚の敷石があるといい、長野市の史跡に指定されています。

本堂前の敷石は、本堂が落成した6年後の正徳3年（1713）に腰村（西長野）西光寺の単求によって寄進されました。ここに描かれた山門より南の敷石を寄進したのは江戸の大竹屋平兵衛で、翌年までに完成しています。平兵衛は伊勢の白子（三重県鈴鹿市）の出身で、江戸に出て石屋を営んでいました。大竹屋平兵衛が善光寺の敷石を寄進した事情については、伝説が語り伝えられています。

釈迦堂

仲見世の中央から東に入ると、釈迦涅槃像をまつ世尊院の「釈迦堂」があります。「世尊」とはお



御開帳中の世尊院釈迦堂

釈迦様のことです。鎌倉時代に造られた等身大の釈迦涅槃像で、国の重要文化財に指定されています。越後の海から出現した仏像という伝説があります。

善光寺の御開帳中は、釈迦堂の前にも回向柱（供養塔）が建てられます。善光寺が江戸等で出開帳をした折も、この涅槃像は前立本尊とともに出張しました。御開帳には欠くことのできない仏像なのです。

院と坊

この図では、釈迦堂のある通り（釈迦堂通り）には「院」の付く宿坊が11院並んでいます。仁王門の南側の宿坊は、この図ではすべて「坊」が付いています。しかしよく見るとこの中には、現在は「坊」ではなく、「院」となっている宿坊があります。

現在の善光寺には天台宗の宿坊と浄土宗の宿坊があって、天台宗は院（25院）、浄土宗は坊（14坊）と決まっています。しかしかつては天台宗の中にも、坊を名乗っている宿坊がありました。天台宗の宿坊が院に統一されたのは、戦後になってからのことです。

6月号は「大本願の周辺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい

◆新型コロナウイルスの感染症で「社会概念や価値観」が変化したか

「変化したと思う」56% 「そうは思わない」16%
「どちらでもない」19% 「分からない」8%

「新型コロナウイルス感染症により、社会概念や自身の価値観が変化したと思うか」を聞きました。

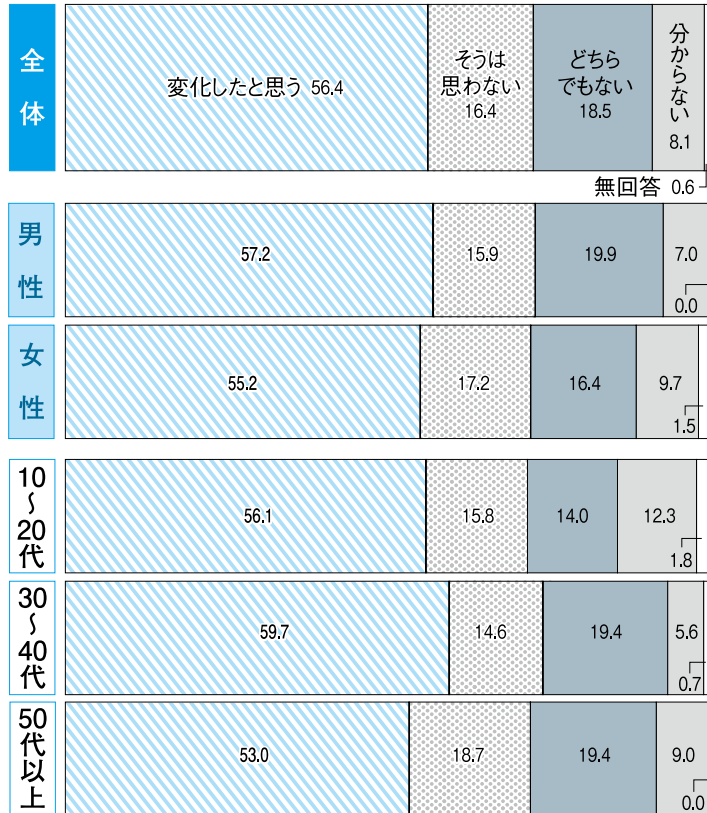
「変化したと思う」が56%、「そうは思わない」が16%、「どちらでもない」が19%、「分からない」が8%となりました。

男女別で見ると、男性は「変化した」が57%、「そうは思わない」が15%、「どちらでもない」が19%、女性は同様に55%、17%、16%となり、3割差以内で大差はありません。

世代別で見ると、10～20代は「変化した」が56%、「そうは思わない」が16%、「どちらでもない」が14%、30～40代は同様に60%、15%、19%、50代以上は53%、19%、19%と、やや差が広がりました。

〈当金庫・2022年3月調査〉

●新型コロナウイルス感染症により、社会概念や自身の価値観が変化したか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [6月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
6月 2日 木	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	6月 17日 金	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
3日 金	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	21日 火	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
7日 火	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	22日 水	飯綱支店	大門町支店 (桜枝町支店)
8日 水	長池支店 (大豆島支店)		24日 金	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日 月	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	稲荷山支店 (屋代支店)	28日 火	本部	
16日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	29日 水	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

